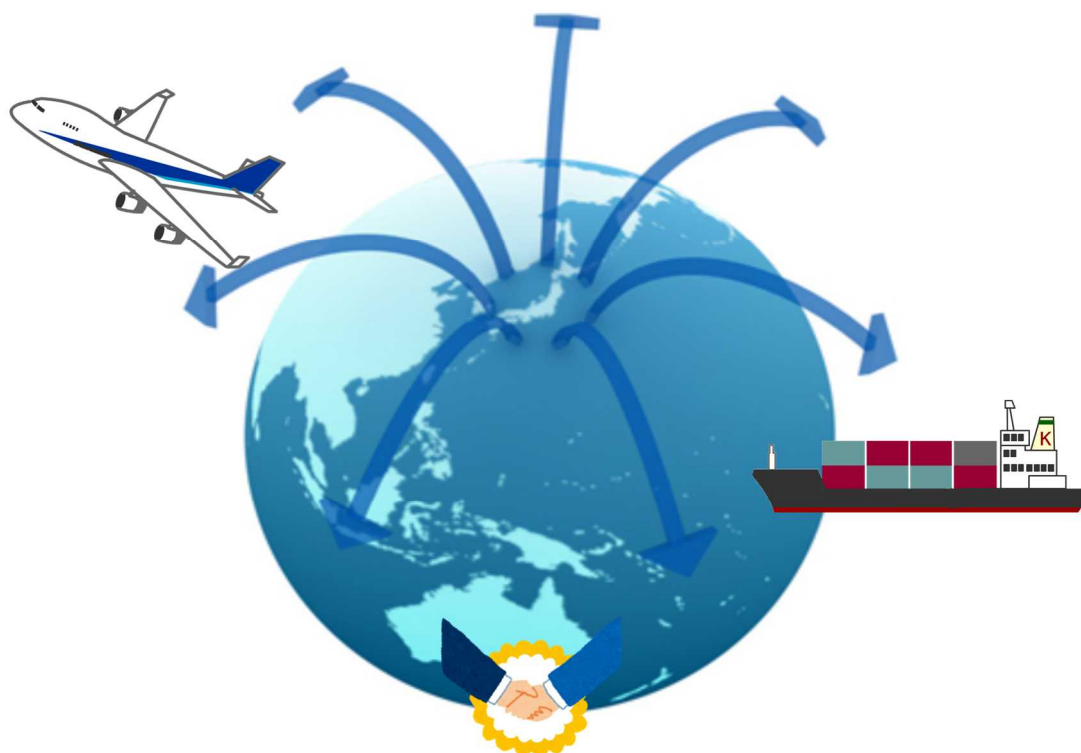


2025. 9

貿易ニュース鹿児島

Kagoshima Trade News



Contents

海外レポート（上海）	1
Information	5
新着図書情報	11
外貿港情報（鹿児島港・川内港・志布志港）	12
貿易相談のご案内	21
通訳・翻訳	22
メーリングリスト、貿易協会公式 Instagram のご案内	23
新規入会会員募集のご案内	24

（別巻）

鹿児島税関支署管内貿易概況（6月、上半期）

中国上海市の現状レポート ～中国の牛肉市場について～

公益社団法人鹿児島県特産品協会
上海代表処 首席代表 船井英史



今年に入り、中国は日本からの水産品と牛肉の輸出について、相次いで再開の動きを見せています。水産品については2025年5月に技術的要件について合意が成立し、段階的な輸入再開に向けた実質的進展が発表されました。

一方、牛肉については、7月11日に日中動物衛生検疫協定が発効し、2001年のBSEの発生以来停止されていた中国への輸出が再開される運びとなりました。この協定は2019年に署名されていましたが、中国側の手続きが長期間停滞していた経緯があります。

24年ぶりの輸出再開に向け、日本政府や業界関係者等の期待も高く、実現すれば日中経済関係における重要な転換点になると考えています。当所としても非常に関心を持って受け止めており、今回は中国の牛肉市場の現状についてレポートしたいと思います。

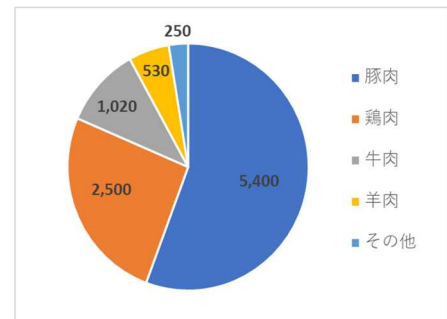
1 世界最大の食肉消費市場

中国国家统计局によると、中国は現在約14億人の人口を抱えており、2023年の年間食肉消費量は約9,700万トンに達し、世界最大の消費量を誇ります。内訳は右図のとおり、豚肉が半数以上を占め、鶏肉、牛肉、羊肉、その他（鴨肉等）と続きます。

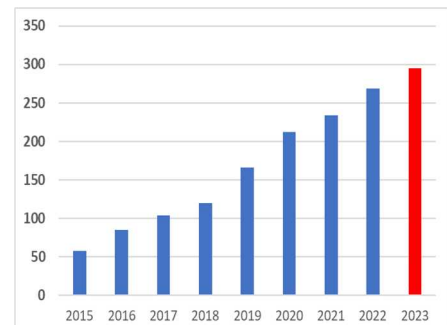
全体的に増加傾向を示しており、世界最大の食肉消費市場でありながら、国内供給が需要に追いついていない状況にあります。特に牛肉の輸入需要が増えており、中国海関総署によると、2023年の牛肉輸入総量は約300万トンに達し、前年比で約11%増を記録するなど、輸入量が急速に拡大しています。

輸入元はブラジルなど南米が中心ですが、自由貿易協定を締結しているオーストラリアやニュージーランドも一定のシェアを有しています。特に「オーストラリア産和牛（以下、豪州産和牛）」は高級牛肉の一つとして広く流通しており、高い人気を誇ります。

中国最大の評価プラットフォーム「大衆点评」では、その人気の秘密として、価格と味のバランス、多様な調理シーンに適合すること、安全性・信頼性の高さ、等が挙げられています。



【2023 年食肉消費量の内訳（万トン）】



【牛肉輸入総量の推移（万トン）】

実際に、当所と過去に連携実績があり、人気の和食店や居酒屋等を経営する4人のオーナーに対して牛肉の産地を伺ったところ、全員から豪州産を使用しているとの回答がありました。聞き取りに対し、「本当は日本産を使いたい、供給や価格の面で難しい。豪州産でも十分に美味しい」という理由が挙げられました。

また、今年1月に上海市内の高級懷石料理「宮楽」で開催した鹿児島美食フェアにおいて、豪州産和牛を使用したすき焼きを賞味しました。日本産のようなとろける食感とは若干異なり、あっさりとした中にも深みのある味わいが特徴で、予想以上の美味しさに正直驚きました。豪州産和牛が中国の消費者にとって独自の価値となり、市場に確固たる地位を築いていることを実感しました。



【豪州産和牛のすき焼き】

2 中国の牛肉の市場拡大の背景

中国で牛肉市場が拡大している背景については、大別して、「国民所得の向上」と「健康意識の高まり」という2つの点が指摘されています。それぞれについて深堀します。

(1) 国民所得の向上がもたらす牛肉消費の拡大

中国国家统计局によると、2023年の中国都市部の世帯年間可処分所得は、約51,500元（約103万円）に達し、2015年比で+67%という大幅増を示しました。消費者の食生活が大きく変化し、豚肉中心だった従来の食習慣から、より高級な牛肉へのシフトが加速しています。

この所得向上の効果が、外食産業の発展にも顕著に表れています。例えば、高所得層をターゲットとした焼肉チェーン店の店舗数が、2021年から2024年にかけて2倍以上に急増したほか、高級ス

ーパーでは牛肉販売額が年間20%という高い伸び率を維持しています。利便性の高いECやフードデリバリー市場も急速に拡大し、家庭での牛肉消費をさらに促進しています。

また、中国は高級食材を贈り物として交換する習慣が根強く、贈答用需要の拡大も重要な要素です。春節（旧正月）などの祝日に併せた高級牛肉ギフトの需要が急増しており、2023年の祝日シーズンの売上高は、約80億元（約1.6兆円）にも達しています。

中国の国民所得の向上は、日常的な食生活から贈答需要まで、多岐にわたって牛肉市場の成長を支えていることが伺えます。



【高級スーパーOle'の豪州産和牛】

(2) 健康志向の高まりによる需要の変化

中国人の健康意識の高まりは、購買行動に大きな影響を与えています。近年、都市部の若年層を中心に「高タンパク・低脂肪」を重視した食生活が広がっており、牛肉は健康志向の消費者から理想的な食材として注目を集めています。

フィットネスブームの拡大も、牛肉の需要を後押ししています。2024年時点で、中国のフィットネス愛好者は推定1.3億人に達し、運動前後の良質なタンパク源として牛肉が積極的に選ばれる傾向が強まっています。

また、「低糖質ダイエット」の流行や、医療専門家やインフルエンサー等による「牛肉は優れた鉄分補給源」という情報発信も消費者の共感を呼んでいます。これはEC市場にも明確に反映されており、健康食品カテゴリーでは牛肉製品の取り扱いが増加しています。

さらに、食材の安全性に対する意識の高まりも見逃せません。産地が明確で、安全管理が徹底された牛肉が優先的に選択される傾向にあります。豪州産和牛は、厳格な検疫基準と、完全なトレーサビリティシステムという特徴が消費者に認知されており、味はもちろん、安全性の高さからも中高所得層に支持されていることが人気の背景にあります。

このように、中国では「美味しいから」という理由だけでなく、「体に良いから」という理由で牛肉を選ぶ消費者が確実に増えています。栄養価の高さ・健康効果・安全性という3つの要素を兼ね備えた牛肉が、今後さらに人気となっていくことが予想されます。



【プロテイン強化牛肉ジャーキー】

3 牛肉市場を支えるサプライチェーン

急成長する中国の牛肉市場に呼応するように、それを支えるサプライチェーンも大きく進化しています。

例えば、中国最大手の火鍋チェーン「海底撈」の年間牛肉購入量は約5万トンに上ると推計されており、火鍋用の薄切り肉をはじめ、用途に応じて多様で精密な加工が求められています。こうした膨大かつ多様なニーズに応えるため、牧場飼育から食肉処理、加工、販売までを一貫して管理する「垂直統合」モデルを確立した専門サプライヤーが台頭してきました。

さらに近年では、ブロックチェーン技術やQRコードを活用した、高度なトレーサビリティシステムの導入が進んでいます。生産から消費までの全過程を透明化し、食品安全を保証するとともに、製品に付加価値を与えることで差別化を図る企業が増えています。



【「海底撈」で大人気の牛肉火鍋】

また、中国国内の供給力を補完する存在として、輸入専門サプライヤーの役割が非常に重要になっています。ブラジルやオーストラリアなど主要生産国と直接契約を結び、現地での買い付けから品質管理、国際物流、通関手続までを一貫して手がけるこれらの企業が、巨大な需給ギャップを埋める重要な役割を果たしています。サプライチェーンは国内で完結する形態を超え、国際的に展開して最適な調達先を組み合わせる構造へと発展しています。

加えて、「コールドチェーン」インフラの飛躍的な発展も見逃せません。特に都市部を中心に、 -18°C 以下の低温を維持したまま配送できる冷凍冷蔵物流ネットワークが高度に整備されました。これにより、品質と鮮度を最大限保ちながら、迅速かつ広範囲に牛肉を流通させることが可能になり、専門サプライヤーによる事業拡大の強固な基盤となっています。

このように、中国の牛肉市場の急成長は、消費の拡大のみならず、国内の垂直統合型サプライヤーと国際的な輸入専門サプライヤー、そして高度なコールドチェーン物流という、三者が連携した強固なサプライチェーン基盤に支えられています。



【コールドチェーン物流センター】

4 日本産和牛の可能性

日本産和牛の中国市場への本格的な輸出再開は、大きな可能性を秘めている一方、課題をしっかりと認識することも大切です。

最も大きな課題は、既存の競合製品との価格競争力だと考えています。前述のとおり、豪州産和牛が価格と供給の安定性で優位に立っている中で、日本産和牛が「高すぎる」と思われないう、その本当の価値を理解してもらうことが重要だと思います。

そのためには、日本産和牛の持つ豊かな食文化や、厳格な品質管理、安全性などの「ブランドストーリー」を効果的に発信し、富裕層や美食家を中心に価値を訴えていく必要があります。

また、現地市場のニーズに対応することも欠かせません。中国で人気の調理法に合った部位の提案や、小分け包装の導入など、消費者や飲食店が利用しやすい形も検討していく必要があると思います。さらに、信頼できる現地の輸入業者や小売業者、飲食店等と連携し、強いサプライチェーンを築くことは、成功のための必要不可欠な要素になってきます。

中国への牛肉輸出解禁に向けて、当所では引き続き、中国の飲食店やスーパー、輸入業者やサプライヤーとの関係づくりに努め、鹿児島県産和牛の認知度向上と販路拡大を図っていきたいと考えています。



【Information】

【助成金】「令和7年度海外出願支援事業」のご案内

かごしま産業支援センターでは、県内中小企業等の皆さまの、海外展開に向けた外国への特許出願等（特許・実用新案・意匠・商標）を促進するため、経費の一部を助成します。

【募集期間】 令和7年5月29日(木)～
同年10月31日(金)午後5時まで※申請書類必着

※詳細はこちらから。

<https://www.kisc.or.jp/cat-sangyou/62638/>

お問い合わせ

(公財)かごしま産業支援センター 産業振興課

TEL: 099-219-1272

E-mail: ikusei@kisc.or.jp

JETRO「パナマ・ビジネスセミナー 中南米最大のロジスティクスハブを活用」のご案内

ジェトロは、パナマ商工省、駐日パナマ大使館との共催で、ホセ・ラウル・ムリーノパナマ共和国大統領、フリオ・モルト商工大臣が来日する機会を捉え、同国の投資環境を紹介するセミナーを開催します。本セミナーでは、モルト商工大臣から同国の最新経済情勢や投資環境について紹介いただいた後、ジェトロよりパナマにおける日系企業の進出状況やビジネス動向を説明します。また、パナマでビジネスを展開している日系企業の担当者をお招きし、同国での経験や、日本企業の視点で見たパナマの投資環境やビジネスチャンスについてお話いただく予定です。

【日 時】 2025年9月4日(木曜)10時00分～12時00分(受付開始:9時30分)
※ジェトロメンバーズは、9時20分から優先入場いただけます。

【開催場所】 ジェトロ本部 5階 JETROホール(港区赤坂1-12-32 アーク森ビル)

【申込締切】 2025年9月1日(月曜)17時00分

※プログラム等詳細はこちらから。

<https://www.jetro.go.jp/events/scc/9d083ccd0746bdf8.html>

お問い合わせ

ジェトロ・ビジネス展開課(担当:八木、遠山、小林)

TEL: 03-3582-5235

E-mail: scc-event@jetro.go.jp

【Information】

「海外輸出を体系的に学ぶ1泊2日集中プログラム」について

本講座は、農林水産物・食品の輸出を始める際の基礎知識から実践的な内容まで、輸出全体像を学ぶプログラムです。輸出事業に興味のある方の入門講座として、また既に輸出に取り組まれている方においては課題や方向性を再認識する機会としてご参加いただけます。

グループワークや懇親会を交えることで、受講者同士が交流を深め、同じ志を持つ仲間や、異なる地域や業種の方との人脈形成の場としても人気の講座です。普段と異なる環境で学ぶことで、モチベーション向上や新たな気づきを得るきっかけにも繋がります。

講師には、農林水産省と地球の歩き方のコラボガイド『おいしい日本の届け方』のアドバイザーでもある株式会社IAC 秋島様をお招きします。

AFJ日本農業経営大学校とGFPの連携開催である本講座を、是非ご活用ください！

【募集期間】 2025年7月31日(木)～ 2025年10月1日(水)

※詳細はこちらから。

<https://www.afj.or.jp/jaiam/onschool/export-camp/>

お問い合わせ

AFJ日本農業経営大学校（運営法人：一般社団法人アグリフューチャー・ジャパン）

TEL(代表)：03-5781-3750

E-mail: application-online@afj.or.jp

GFP「プロフェッショナル人材事業および副業・兼業人材活用促進事業」のご案内

GFPでは輸出拡大に向けた人材の確保・活用を必要とされている事業者様に向け、内閣府が運営する「プロフェッショナル人材事業」との連携を進めております。

GFP事務局からの輸出拡大に向けた支援とプロフェッショナル人材事業からの人材確保の支援の2つの取組を連携し、より充実した事業者様のサポートを目指しております。

※詳細はこちらから。

<https://www.maff.go.jp/j/shokusan/export/gfp/attach/pdf/gfptop-92.pdf>

プロフェッショナル人材事業では、各道府県が「副業・兼業人材活用促進事業」として経費の一部の補助を実施していますので、併せてご案内させていただきます。

以下リンクに各道府県の補助事業一覧がございますので、是非ご活用をご検討ください。

※詳細はこちらから。

<https://www.maff.go.jp/j/shokusan/export/gfp/attach/pdf/gfptop-97.pdf>

プロフェッショナル人材事業を詳しく知りたい・活用したい事業者様は各地方農政局等の輸出担当窓口まで、お問い合わせ下さい。

地方農政局等の輸出担当窓口：

https://www.maff.go.jp/j/shokusan/export/e_soudan/tihou.html

お問い合わせ

輸出・国際局 輸出支援課 担当者：輸出相談窓口

TEL：代表：03-3502-8111（内線4360）

TEL：ダイヤルイン03-6744-7185

【Information】

GFP「青果物規制対応セミナー＆相談会」のご案内

日本青果物輸出促進協議会様の事業にて、青果物輸出に係る残留農薬への対応や園地登録・選果梱包施設登録等にフォーカスした、「青果物輸出規制対応セミナー＆相談会」をオンライン（Zoom）にて開催します！ハードルの高い台湾向けの残留農薬対応や、昨年度解禁されたフィリピン向けいちごの登録等、ご経験のある生産者やバイヤー様より事例を共有いただきます。

コンテンツの最後には、登壇者の方にご相談いただける少人数でのグループ相談会も実施致します！皆様の今後の輸出のきっかけ・ヒントとなる機会となりますので、是非ご参加ください。

【日 時】 2025年9月12日（金）14:00～17:45 予定

【実施方式】 オンライン（Zoom）

【参 加 費】 無料

【対 象 者】 青果物、青果物加工品を持つ生産者・メーカー様、青果物輸出に関わる事業者

【申込締切】 9月8日（月）

※セミナー、グループ相談会の参加URL（Zoom）は、締め切り後に申込者にお送り致します
※詳細はこちらから。

https://www.gfp1.maff.go.jp/uploads/2025/08/250912_FruitsVegetable-Kiseitaiou_v01.00.pdf

※お申込はこちらから。

<https://www.secure-cloud.jp/sf/business/1754985112eINwQicH>

お問い合わせ

アクセンチュア株式会社（事務局）担 当：豆田・小栗・土井

TEL: 090-5715-6703（土井） ※お電話繋がらない場合は留守電メッセージをお願いします

E-mail: Agri_Exportation_JP@accenture.com

「ロサンゼルス輸出支援プラットフォームのHP開設及び輸出促進アドバイザーによる相談窓口の開設」のご案内

農林水産物・食品輸出支援プラットフォーム（以下「PF」）は、「農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略」に基づき、2030年までに日本産農林水産物・食品の年間輸出額を5兆円に到達させるという目標の達成に向け、マーケットイン・マーケットメイク型の輸出を進めるため、輸出先国・地域において輸出事業者を包括的・専門的・継続的に支援することを目的として設立されました。

2022年4月に米国・ロサンゼルスで初めて設立され、以後、EU諸国、アジア諸国等で拠点が立ち上がり、現在10か国・地域、16拠点においてPFが設置されています。

米国PFはロサンゼルス、ニューヨーク、ヒューストンの3拠点到事務局を設置しており（2025年5月時点）、ロサンゼルス事務局の構成員は在ロサンゼルス日本国総領事館、JETROロサンゼルス事務所、JFOODOロサンゼルスです。なお、2022年には七味会、米国日系レストラン協会（JRA）、日本食文化振興協会（JFCA）、当地料理学校Sushi Chef Instituteの当地食品関連4団体が、JETROロサンゼルス事務所と「日本食普及拡大のための覚書」に署名しております。

在ロサンゼルス日本国総領事館は、当館管轄地域である米国・南カリフォルニア及びアリゾナ州向けに、日本産農林水産物・食品の輸出や日本食の普及に取り組む事業者の皆様の活動を支援します。当該ページでは、輸出支援プラットフォームの取組内容や輸出に関するお役立ち情報を掲載しており、皆様の活動の一助となれば幸いです。

※詳細はこちらから。

https://www.la.us.emb-japan.go.jp/itpr_ja/economic-shokusan.html

お問い合わせ

在ロサンゼルス日本国総領事館 経済班 担当者：北川領事

TEL: +1 (213) 617-6700（内線: 206）

E-mail: keizai@ls.mofa.go.jp

【Information】

KOTRA「2025年下半年ブームアップ 코리아 商談会開催」のご案内（訪韓バイヤー募集）

平素より弊センターの事業へご関心をいただき誠にありがとうございます。
早速ですが、毎年恒例の総合大型商談イベント【ブームアップ 코리아】が、この度、APEC首脳会議や産業・地域展示会と連携し、過去最大規模で開催する運びとなりました。現在主催では、韓国企業からの購買や情報収集を目的とした商談会参加バイヤー様を募集しております。是非この機会をご活用いただき、新規パートナー開拓にお役立ていただければと存じます。
※当イベントは「韓国(企業)⇒日本」への製品の提案の場となっております。
日本企業側の営業目的でのご参加はお断りしておりますので、あらかじめご了承ください。

【名 称】 2025ブームアップ 코리아 WEEK (Korea Biz Week)

【日 時】 2025年10月21日(火)～22日(水) 2日間

【募集締切】 1次締切: 8月20日(水) / 最終締切: 9月10日(水)

※詳細はこちらから。

<http://kotra-event.jp/33830.html>

お問い合わせ

KOTRA韓国貿易センター(福岡) 担当者: 宗像

TEL: 092-473-2005 FAX: 092-473-2007

E-mail: munakata@kotra.or.jp

TAITRA「台湾国際ウォーターウィーク (TIWW)」のご案内

台湾では近年、浄水器・浄水器、水処理金具、流体機器やアクセサリーなど海外への輸出が急速に伸びています。「台湾国際ウォーターウィーク」では身近なものからソリューションまで、水ビジネスに関連するあらゆる分野・モノが一堂に会します。皆様の多数のご参観を心よりお待ちしております。

【開催期間】 2025年10月29日(水)～31日(金)

【会 場】 台北南港第1展示ホール

【出展科目】 水処理、再生水、輸送貯蔵及びアクセサリー、浄水及び飲用水…他

【申込締切】 ご提供枠数に達した時点、または9月26日(金)

※詳細はこちらから。

<https://fukuoka.taiwantrade.com/event/detail.jsp?id=35294>

お問い合わせ

台湾貿易センター福岡事務所 担当: 池内

TEL: 092-472-7461 FAX: 092-472-7463

E-mail: fukuoka@taitra.org

【Information】

見本市情報

～国内開催見本市～

開催期間	見本市名	URL
9月3日(水)～ 9月5日(金) 幕張メッセ 【リアル・オンライン 同時開催】	JASIS 2025 【機械・精密・測定・試験機器、生産技術、品質管理】	https://www.jetro.go.jp/j-messe/tradefair/detail/152766
9月4日(木)～ 9月5日(金) 神戸国際展示場	国際フロンティア産業メッセ2025 【環境、医療、機械・工業技術、生産技術、地域のビジネス】	https://www.jetro.go.jp/j-messe/tradefair/detail/147992
9月10日(水)～ 9月12日(金) 東京ビッグサイト 東展示棟	国際物流総合展2025 第4回 INNOVATION EXPO【輸送・物流】	https://www.jetro.go.jp/j-messe/tradefair/detail/155653
9月10日(水)～ 9月12日(金) インテックス大阪	2025大阪国際ライフスタイルショー／浙江省輸出商品(大阪)交易会 【生活、子供用品、繊維・衣料、家庭用品】	https://www.jetro.go.jp/j-messe/tradefair/detail/152750
9月16日(火)～ 9月18日(木) 東京ビッグサイト	Diet & Beauty Fair 2025 【医療・健康、化粧品、美容関連用品】	https://www.jetro.go.jp/j-messe/tradefair/detail/152982
9月17日(水)～ 9月19日(金) 東京ビッグサイト	INCHEM TOKYO 2025 【鉱業、エネルギー、化学、ゴム、サービス】	https://www.jetro.go.jp/j-messe/tradefair/detail/139782
9月17日(水)～ 9月19日(金) 幕張メッセ	第4回 スマート工場 EXPO [秋] - IoT/AI/FAによる製造革新展 【機械・工業技術、製造・生産技術、品質管理】	https://www.jetro.go.jp/j-messe/tradefair/detail/152658
9月25日(木)～ 9月26日(金) 東京ビッグサイト	FOOD STYLE JAPAN 2025 <東京> 【農林水産・食品、サービス】	https://www.jetro.go.jp/j-messe/tradefair/detail/144862
9月25日(木)～ 9月28日(日) Aichi Sky Expo (愛知県国際展示場)	ツーリズムEXPOジャパン2025 愛知・中部北陸 【観光・旅行、ホテル、交通、サービス】	https://www.jetro.go.jp/j-messe/tradefair/detail/152775
9月25日(木)～ 9月28日(日) 幕張メッセ	東京ゲームショウ 2025 【趣味・教育、玩具、遊戯用具、ゲーム用品】	https://www.jetro.go.jp/j-messe/tradefair/detail/152729

※掲載されている見本市情報(開催時期や内容)は主催者により変更、延期、中止されることがあります。

【Information】

見本市情報

～海外開催見本市～

開催期間	見本市名	URL
10月1日(水)～ 10月4日(土) トルコ / イスタンブール	IJS Istanbul Jewelry Show – October 2025 【宝石、貴金属、アクセサリ】	https://www.jetro.go.jp/j-messe/tradefair/detail/153907
10月4日(土)～ 10月8日(水) ドイツ / ケルン	ANUGA 2025 – Trade Fair for Food and Beverages【食・飲料、食品加工、サービス】	https://www.jetro.go.jp/j-messe/tradefair/detail/136278
10月7日(火)～ 10月9日(木) 米国 / ラスベガス	IMEX America 2025 【観光・旅行、ホテル、サービス】	https://www.jetro.go.jp/j-messe/tradefair/detail/153959
10月7日(火)～ 10月10日(金) フランス / リヨン	POLLUTEC 2025 ポリュテック・リヨン 【環境、廃棄物処理、リサイクリング、エネルギー】	https://www.jetro.go.jp/j-messe/tradefair/detail/132463
10月15日(水)～ 10月17日(金) シンガポール	ITB ASIA 2025 – Travel Trade Show 【観光・旅行、ホテル、地域的ビジネス】	https://www.jetro.go.jp/j-messe/tradefair/detail/153657
10月15日(水)～ 10月19日(日) ドイツ / フランクフルト	Frankfurter Buchmesse 2025 【書籍(ブックフェア)、通信、情報処理、映像】	https://www.jetro.go.jp/j-messe/tradefair/detail/153839
10月20日(月)～ 10月23日(木) 中国 / 香港	メガショー香港 パート1 【生活、ギフト用品、家庭用品、玩具、スポーツ】	https://www.jetro.go.jp/j-messe/tradefair/detail/153211
10月22日(水)～ 10月25日(土) 中国 / 上海	ミュージックチャイナ 2025 【音楽(楽器、音盤、楽譜等)、教育】	https://www.jetro.go.jp/j-messe/tradefair/detail/153783
10月27日(月)～ 10月29日(水) アラブ首長国連邦 / ドバイ	ビューティーワールド ミドルイースト 2025 【生活、化粧品、美容関連用品、ヘルスケア】	https://www.jetro.go.jp/j-messe/tradefair/detail/153891
10月27日(月)～ 10月30日(木) 中国 / 香港	Hong Kong International Lighting Fair 2025 (Spring Edition)【照明】	https://www.jetro.go.jp/j-messe/tradefair/detail/153782

※掲載されている見本市情報(開催時期や内容)は主催者により変更、延期、中止されることがあります。

新 着 図 書 資 料 情 報

★ここでは、かごしま海外ビジネス支援センターライブラリーで入手した図書を紹介しています。
掲載されている資料は自由に閲覧することができます。

★また、図書や資料等の充実を図るため、みなさまからのご要望も受け付けております。
揃えてほしい資料等がございましたら、事務局までご連絡ください。

ライブラリー新着図書(R7.7.21～R7.8.20)

番号	資料名	発行者名	受入年月日
1	財界九州 9月号 No.1210	株式会社財界九州社	2025/07/22
2	日本貿易会月報 2025 7・8月号 No.829	一般社団法人日本貿易会	2025/07/22
3	TSR情報 No.3061	株式会社東京商工リサーチ	2025/07/25
4	アグリ・フードサポート 2025上半期	株式会社日本政策金融公庫 農林水産事業本部	2025/07/29
5	AIBAだより 第117号	一般社団法人貿易アドバイザー協会	2025/07/29
6	鹿児島税関支署 管内貿易概況(令和7年上半期分)	鹿児島税関支署	2025/07/31
7	鹿児島税関支署 管内貿易概況(令和7年6月分)	鹿児島税関支署	2025/07/31
8	TSR情報 No.3062	株式会社東京商工リサーチ	2025/08/01
9	台湾情報誌 交流 2025年7月 vol.1012	公益財団法人日本台湾交流協会	2025/08/04
10	TSR情報 No.3063	株式会社東京商工リサーチ	2025/08/08
11	Japanese RESTRANT news Vol.34 No.321	All Japan News , Inc.	2025/08/08
12	商工連ニュース みなみ風 第576号	鹿児島県商工会連合会	2025/08/12
13	AFCフォーラム 2025.8 夏1号	株式会社日本政策金融公庫 農林水産事業本部	2025/08/13
14	TSR情報 No.3064	株式会社東京商工リサーチ	2025/08/14
15	TSR情報 2025盛夏特集 鹿児島県版	株式会社東京商工リサーチ	2025/08/19
16	財界九州 9月号 No.1199	株式会社財界九州社	2025/08/20

☆☆☆ 鹿児島港（谷山）発着 国際コンテナ航路 ☆☆☆

「鹿児島港国際コンテナヤード」

九州地方港では最大級の冷凍冷蔵輸出入拠点へ

コールドチェーンの拠点として 電源コンテナ保管設備
電源プラグ 60本 対応可能、リーチスタッカーにてCY作業



鹿児島の物流の中心地鹿児島港（谷山）発着 **琉球海運(株)** 運航スケジュール

鹿児島発 毎週木曜日 13時～
高雄発 毎週日曜日 13時～

高雄港着 (所要日数 3日間)
鹿児島着 毎週火曜日 17時着予定



【鹿児島港国際コンテナヤードでの荷役風景】

【ランプウェイ荷役（船内へシャーシで船積み）】

台湾（高雄港）を拠点に、世界各国へ輸出入コンテナのサービスを行います。

【お問い合わせ先】 ㈱共進組 海外営業部 担当 日高 TEL 099-203-0022

鹿児島県鹿児島市谷山港1丁目2-4 “<http://www.kyoshingumi.co.jp/>”

*** 薩摩川内港（川内港）から世界へ!! ***

3 航路週 5 便で運航!!

1 国際定期コンテナ航路について

現在、川内港には、OOCL による国際戦略港湾（神戸）と結ぶ国際フィーダー航路、興亜 LINE（日本総代理店・株式会社シノコー成本）、高麗海運（KMTC）による韓国（釜山）航路、3 航路週 5 便の国際定期コンテナ航路が開設されており、安定したサービスを提供しております。

鹿児島県西部地域の企業へのメリットとして、川内港を利用することによる国内輸送費の削減、OOCL、興亜 LINE、KMTC のサービスネットワークによる東南アジア／中国／台湾等へのコンテナサービスの利用が可能であり、更に、全世界との物流ルートが確保されます。

(1) 航路



航路概要及び船社紹介

3 航路 週 5 便で運航!!

機能充実(ハーバークレーン更新)、利便性向上の薩摩川内港

▶ 運航スケジュール ◀

韓国(釜山)航路 (興亜 LINE) HEUNG-A LINE

毎週水曜・金曜 週2便体制

(1便目)
釜山 → 志布志 → 長崎 → 薩摩川内 → 八代 → 伊万里 → 釜山
(月) (火) (水) (木) (金)

(2便目)
釜山 → 伊万里 → 三池 → 薩摩川内 → 釜山
(水) (木) (金)

韓国(釜山)航路 (高麗海運) KMTC

毎週火・水曜 週2便体制

(1便目)
釜山 → 長崎 → 八代 → 熊本 → 薩摩川内 → 釜山
(日) (月) (火) (火) (水) (金)

(2便目)
釜山 → 伊万里 → 門司 → 徳山 → 薩摩川内 → 釜山
(金) (土) (日) (月) (火) (水)

釜山 → 松山 → 伊予三島 → 広島
(日) (土) (金) (木)

国際フィーダー航路

毎週日曜日・週1便体制
(最大週3便)

神戸 ↔ 薩摩川内 (土)

※国際フィーダー航路は貨物量に応じて増便



韓国

〈 船 社 〉

【興亜LINE株式会社】(韓国)
HEUNG-A LINE CO.,LTD.

〈 日本総代理店 〉

【株式会社シノコー成本】
SINOKOR SEIHON CO.,LTD.
〒103-0027 東京都中央区日本橋二丁目13-0 日本橋サライズビル2F
TEL: 03-3273-4981 FAX: 03-3281-8605

川内港代理店

【日本通運株式会社 川内支店 川内海運事業所】
〒899-1924 鹿児島県薩摩川内市港町 360-16
TEL: 0996-31-2521 FAX: 0996-31-2522



韓国

〈 船 社 〉

【高麗海運株式会社】(韓国)
Korean Marine Transport Co.,LTD.

〈 日本総代理店 〉

【高麗海運ジャパン株式会社】
〒105-0004 東京都港区新橋 1 丁目 18-16
TEL: 03-3500-5055

川内港代理店

【中越物産株式会社】
〒899-1924 鹿児島県薩摩川内市港町字松原360-21
TEL: (0996) 26-3335 FAX: (0996) 26-3310



神戸

〈 船 社 〉

【OOCL (オリエンタル・ライネーズコンテナライン)] (香港)
ORIENT OVERSEAS CONTAINER LINE LTD.
JAPAN BRANCH

〈 国内運航 〉

【井本商運株式会社】
IMOTO LINES CO.,LTD.
〒650-0035 神戸市中央区波花町59番戸朝日ビル2F
TEL: 078-322-1600 FAX: 078-322-1620

川内港代理店

【日本通運株式会社 川内支店 川内海運事業所】
〒899-1924 鹿児島県薩摩川内市港町 360-16
TEL: 0996-31-2521 FAX: 0996-31-2522

乙仲業務・通関業務

【鹿児島海陸運送株式会社 谷山営業所】
〒891-0131 鹿児島県鹿児島市谷山港 3-1-13
TEL: 099-262-0005 FAX: 099-262-0020

株式会社 共進組 外航事務所
〒891-0131 鹿児島県鹿児島市谷山港 1 丁目 24
TEL: 099-203-0794 FAX: 099-260-0795

株式会社 上組 志布志支店鹿児島出張所
〒891-0122 鹿児島県鹿児島市南栄 3 丁目 19-3
TEL: 099-269-4523 FAX: 099-267-7838

運航スケジュール

※中国定期コンテナ航路、台湾定期コンテナ航路については、休止中

	曜 日	日	月	火	水	木	金	土
入 港				1 便	2 便		1 便	1 便
行 先			—	釜山	釜山	—	釜山	神戸

(2024 年 12 月現在)

2 川内港唐浜地区国際物流ターミナル整備 国直轄事業化

令和3年度には「川内港唐浜地区国際物流ターミナル整備事業」の国直轄事業化が決定され、長さ230m、水深12m岸壁等の整備が令和7年度末の暫定供用を目指して国・県により進められています。



3 川内港貿易補助金

(1) 補助対象者

川内港において外貿定期コンテナ船（内航フィーダーコンテナ船を含む）又はその他外国船を利用し、外国との商取引を行う企業（個人経営者含む）に対して交付する。

(2) 補助金

新規利用事業者	■コンテナ貨物(1個当たり) 10万円 ■1年度当りの上限額 10万円
継続利用事業者	■コンテナ貨物(1個当たり) 2万円 ■1年度当りの上限額 50万円
リーファコンテナ加算	■コンテナ貨物(1個当たり) 1万円加算

産直港湾農産品加算	■コンテナ貨物(1個当たり) 1万円加算
薩摩國農産品加算	■コンテナ貨物(1個当たり) 2万円加算
新規・継続利用事業者	■バラ貨物(1Kg当たり) 1円 ■1年度当たりの上限額 40万円

※製紙原材料であるチップの貿易活動は対象外となります。

※新規利用事業者：川内港貿易補助金の交付実績のない事業者

※継続利用事業者：過年度に川内港貿易補助金の交付を受けたことのある事業者

※コンテナは20フィート・40フィートに関わらず同額となります。

※薩摩國農産品加算は、薩摩國広域輸出促進協議会を構成する自治体内で収穫、生産又は製造された農産品の輸出を対象とする。

4 川内港木材輸出促進補助金

(1) 補助対象者

川内港を利用して木材を輸出した企業（個人経営者を含む。）に対して交付する。なお、川内港貿易補助金との重複受給はできません。

(2) 補助金（常熟港外）

新規利用事業者	■コンテナ貨物(1個当たり) 4万円 ■1年度当たりの上限額 120万円
継続利用事業者	■コンテナ貨物(1個当たり) 3万円 ■1年度当たりの上限額 90万円
新規・継続利用事業者	■バラ貨物(1Kg当たり) 1円 ■1年度当たりの上限額 90万円 ※バラ貨物は1回の貿易行為当たり45万円を上限とし、1年度あたり2回を上限とする
燻蒸加算 (新規・継続利用事業者)	■コンテナ貨物 川内港からコンテナ貨物として輸出される木材のくん蒸に要した費用に対して補助する。50㎡以上のくん蒸1回当たり15万を加する。1年度当たり3回を上限とする。 ※くん蒸箇所は川内港周辺部(薩摩川内市港町)に限る。 ■バラ貨物 川内港からコンテナ貨物として輸出される木材のくん蒸に要した費用に対して補助する。50㎡以上のくん蒸1回当たり15万を加する。1年度当たり2回を上限とする。 ※くん蒸箇所は川内港周辺部(薩摩川内市港町)に限る。

※新規利用事業者：川内港木材輸出促進補助金の交付実績のない事業者

※継続利用事業者：過年度に川内港木材輸出促進補助金の交付を受けたことのある事業者

※コンテナは20フィート・40フィートに関わらず同額となります。

(3) 補助金（常熟港）

新規利用事業者	■コンテナ貨物(1個当たり) 5万円 ■1年度当たりの上限額 150万円
継続利用事業者	■コンテナ貨物(1個当たり) 4万円 ■1年度当たりの上限額 120万円
新規・継続利用事業者	■バラ貨物(1Kg当たり) 1円 ■1年度当たりの上限額 180万円 ※バラ貨物は1回の貿易行為当たり45万円を上限とし、1年度あたり4回を上限とする
燻蒸加算 (新規・継続利用事業者)	■コンテナ貨物 川内港からコンテナ貨物として輸出される木材のくん蒸に要した費用に対して補助する。50㎡以上のくん蒸1回当たり15万を加する。1年度当たり3回を上限とする。 ※くん蒸箇所は川内港周辺部(薩摩川内市港町)に限る。 ■バラ貨物 川内港からコンテナ貨物として輸出される木材のくん蒸に要した費用に対して補助する。50㎡以上のくん蒸1回当たり15万を加する。1年度当たり4回を上限とする。 ※くん蒸箇所は川内港周辺部(薩摩川内市港町)に限る。

※新規利用事業者：川内港木材輸出促進補助金の交付実績のない事業者

※継続利用事業者：過年度に川内港木材輸出促進補助金の交付を受けたことのある事業者

※コンテナは20フィート・40フィートに関わらず同額となります。

5 川内港製材輸出促進補助金

(1) 補助対象者

川内港を利用して製材を輸出した企業（個人経営者を含む。）に対して交付する。なお、川内港貿易補助金及び川内港木材輸出促進補助金との重複受給はできません。

(2) 補助金

新規利用事業者	■コンテナ貨物（1個当たり） 6万円 ■1年度当たりの上限額 180万円
継続利用事業者	■コンテナ貨物（1個当たり） 4万円 ■1年度当たりの上限額 120万円
新規・継続利用事業者	■バラ貨物（1Kg当たり） 2円 ■1年度当たりの上限額 100万円 ※バラ貨物は1回の貿易行為当たり50万円を上限とし、1年度あたり2回を上限とする

※新規利用事業者：川内港製材輸出促進補助金の交付実績のない事業者

※継続利用事業者：過年度に川内港製材輸出促進補助金の交付を受けたことのある事業者

※コンテナは20フィート・40フィートに関わらず同額となります。

6 川内港小口混載サービス利用促進補助金

(1) 補助対象者

川内港を利用した外貿定期コンテナ船を利用する利用運送事業者（第2種）による小口混載サービスを受けた事業者（個人事業者含む）。なお、川内港貿易補助金との重複受給はできません。

(2) 補助金

小口混載利用事業者	■小口コンテナサービス利用（1回当たり）1万円 ※1交付対象者当たり10回までを上限とする
-----------	--

7 川内港農産品輸出促進トライアル補助金

(1) 補助対象者

川内港を利用し、新たに農産品の輸出に取り組む事業者、または、新たな国・地域へ農産品の輸出に取り組む企業（個人経営者を含む。）に対して交付する。なお、川内港貿易補助金との重複受給はできません。

(2) 補助金

補助対象経費	■国内での輸送に要する経費 ■川内港から仕向港への会場輸送に要する経費 ■国内荷役・梱包・保管等に要する経費 ■通関・検疫等の輸出手続きに要する経費
補助額	補助対象経費に1/2とする。ただし、1補助対象者1年度あたり20万円を上限とする。

8 リーファコンテナ利用促進支援補助金

(1) 補助対象者

川内港冷蔵・冷凍用電源施設（リーファコンセント）を利用した事業者（個人事業者含む）

(2) 補助金

リーファコンセント利用事業者	■鹿児島県が請求する冷蔵・冷凍用電源施設（リーファコンセント）料の1/2 ※鹿児島県港湾管理条例で1時間350円となっているリーファコンセント使用料1/2助成することで1時間あたり175円とする。
----------------	---

※リーファコンセント口数：25口

9 川内港内航移出入モーダルシフト補助金

(1) 補助対象者

川内港において内航定期コンテナ船を利用し、内国貨物を移出入した荷主（個人経営者を含む）に対して交付する。

(2) 補助金

新規・継続利用事業者	■コンテナ貨物（1個当たり） 1万円 ■1年度当りの上限額 20万円
------------	---------------------------------------

※コンテナは20フィート・40フィートに関わらず同額となります。

10 川内港海外展開支援補助金

(1) 補助対象者

川内港を利用し市内産品の輸出入による販路拡大にて海外展開を図ろうとする事業者に交付するものとする。

(2) 補助金

補助対象経費	■参加料、渡航費、宿泊費、搬送経費、検査料、通訳料、相談料 ■出展用パンフレット等の制作経費 ■その他会長が必要と認める経費
補助額	■補助対象経費額の2分の1 ■1年度当りの上限額 1補助対象者20万円

【問い合わせ先】

薩摩川内市貿易振興協会（薩摩川内市国際交流センター内）

TEL・FAX 0996-25-3300

薩摩川内市 経済シティセールス部 産業戦略課

TEL 0996-23-5111（内線5772）FAX 0996-20-5570

貴社生産の農林水産物・食品等を 志布志港から輸出してみませんか？ (小口混載からも可。)

志布志港 小口混載

検索

南九州の農林水産物・食品を、
志布志港から世界へ！

志布志港、**冷凍小口混載輸出**
を始めました！！



令和4年5月に、
小口貨物を混載して、
海外輸出しました！

ぜひ、志布志港から
農林水産物・食品の輸出を
一緒にしてみませんか？

【志布志港から各地への輸送日数】

【小口冷凍貨物】

仕向地(輸出先国)	所要日数
香港港(中国)	9日
基隆港(台湾)	3日



【小口ドライ貨物】

仕向地(輸出先国)	所要日数	仕向地(輸出先国)	所要日数
香港港	14日	ロサンゼルス港	30日
高雄港(台湾)	15日	ニューヨーク港	39日
基隆港(台湾)	17日	シカゴ港	47日
バンコク港(タイ)	19日	ロッテルダム港(オランダ)	54日
レムチャバン港(タイ)	22日	サウザンプトン港(イギリス)	55日
ハイフォン港(ベトナム)	17日	ドバイ港(UAE)	38日
シンガポール港	22日	シドニー港(オーストラリア)	36日

※上記の仕向地(輸出先国)は一部であり、**世界180カ国への輸出が可能**です。まずはご相談ください！
～【農林水産物・食品の海外輸出に興味がある場合は、以下の連絡先までご連絡ください】～

【小口混載に関する相談窓口】 イーキューワルト"ワイト"(株) 080-6215-9384

【輸出に関する相談窓口】 志布志市役所 099-472-1111

【輸出全般の相談窓口、企業に関すること】 みなと振興グループ 内線 (450・451・452・453)
minato@city.shibushi.lg.jp

【農産物に関すること】 作物グループ 内線 (169・170・171・172)
sakumotsu1@city.shibushi.lg.jp

【輸出通関手続きに関する相談窓口】

(株)上組志布志支店 099-473-2497 / 日本通運(株)志布志支店 099-472-1121/
東洋埠頭(株)志布志支店 099-472-1771 / (株)山下回漕店 099-472-1401
鹿児島海陸運送(株) 志布志営業所 099-472-7666

志布志港食品輸出小口貨物助成事業

志布志港湾振興協議会

◆事業目的◆

食品等の小口貨物を輸出するニーズの高まりや国が農林水産物・食品輸出目標額を5兆円(2030年まで)に設定(令和2年3月31日)したことを受けて、志布志港発着する外貿コンテナ定期航路、または、国内定期航路を利用する食品の小口・混載貨物コンテナを輸出する荷主企業に対して、予算の範囲内で輸出に係る経費の一部を助成し、輸出促進を図ることを目的としています。

◆助成内容◆

対象者	要件	助成額
・日本国内に事業所を有し、1年以上事業活動を継続している企業 ・船荷証券(B/L)の出しの荷主企業	・志布志港発着の外貿コンテナ定期航路及び国内定期航路を活用した輸出コンテナ(リーファー及びCA)貨物 ・通関手続きが長崎税関鹿児島税関支署志布志出張所管轄でなされた貨物 ・小口貨物及び複数企業によるコンテナ混載の食品貨物(LCL貨物)	・助成額 ドライ:1万円/1RT 冷凍:2万円/1RT ・1コンテナ当たり助成限度額 ドライ:3万円/1荷主 冷凍:6万円/1荷主 ・年間助成金限度額 ドライ:30万円/1荷主 冷凍:60万円/1荷主

◆申請方法◆

小口貨物の荷主の場合は、(1)に掲げる①③④と必要に応じて⑤⑥を提出。
複数荷主による小口混載貨物において、荷主の代表者が一括申請を行う場合は、①～④及び必要に応じて⑤⑥を提出。

(1)助成金申請に必要な書類

- ①助成金交付申請書(様式第1号)
- ②助成金申請代表者同意確認書(様式第2号) ※荷主代表者による申請の場合
- ③船荷証券(B/L)の写し
- ④輸出許可通知書の写し
- ⑤輸出小口混載貨物輸送証明書(様式第3号) ※国内定期航路利用時のみ
- ⑥定款及び法人の登記事項証明書 ※志布志市輸出関連助成金新規利用者のみ

(2)助成金請求に必要な書類

- ①助成金交付請求書(様式第5号)
- ②助成金交付決定通知書(様式第4号)の写し ※当協議会からの決定通知書

【お問い合わせ】

〒899-7192 鹿児島県志布志市志布志町志布志二丁目1番1号
志布志港湾振興協議会事務局(志布志市役所 みなと振興課みなと振興グループ内)
TEL:099-472-1111(内線452・453) FAX:099-473-2203
MAIL:minato@city.shibushi.lg.jp

相談料
無料！！

貿易相談のご案内

(公社)鹿児島県貿易協会では、県内企業等の海外事業展開を支援するため、貿易実務・関税・金融など専門のアドバイザーによる貿易相談を実施しています。

海外との貿易取引に関する基礎知識、輸出入の諸手続き、交渉の進め方、決済の方法、その他海外との取引に関する様々なご相談に応じることにしています。

現在、既に海外との貿易を展開中の方、これから海外貿易を検討したいと考えておられる方などお気軽に貿易相談をご活用ください。

オンラインでの相談も実施しております！！

- 相談日：随時
- 時間：随時
- 場所：鹿児島市鴨池新町10番1号
(鹿児島県庁10階 販路拡大・輸出促進課)
※オンラインでの相談可
- 相談料：無 料
- アドバイザー：貿易実業者、金融機関、通関実務者、
商社等からの専門アドバイザーが対応。
- 相談方法：個別相談
(事前に電話等でご予約ください。)
TEL：099-251-8484



～アドバイザーのご紹介～

担当	アドバイザー	役職名
実務	弓場 秋信	弓場貿易㈱ 代表取締役
通関	梅木 洋一郎	㈱共進組 海外営業部 執行役員部長 通関士
通関	前屋 隆一	鹿児島海陸運送㈱谷山営業所 通関課 課長代理 通関士
金融	森口 真也	㈱鹿児島銀行 国際ビジネス支援部 国際ビジネス推進室 室長

翻訳・通訳サービスの御案内【アイエス通訳システムズ】

アイエス通訳システムズでは、翻訳・通訳サービスを承ります。貿易協会会員は割引価格（一般の5%引き）で利用できます。

海外への手紙、契約書の翻訳や通訳についてお気軽にお問合せ下さい。

(基準翻訳料金表)				
日本語→外国語		言語	外国語→日本語	
貿易協会会員	一般		貿易協会会員	一般
¥7,125～	¥7,500～ (400字/1頁)	英語	¥3,800～	¥4,000～ (400字/1頁)
¥7,125～	¥7,500～ (400字/1頁)	韓国語	¥3,800～	¥4,000～ (400字/1頁)
¥7,125～	¥7,500～ (400字/1頁)	中国語	¥3,800～	¥4,000～ (400字/1頁)
¥7,600～	¥8,000～ (400字/1頁)	その他	¥4,750～	¥5,000～ (400字/1頁)
一般通訳（英中韓）料金表				
	貿易協会価格		一般価格	
1日料金（8H）	¥57,000～		¥60,000～	
半日料金（4H）	¥33,250～		¥35,000～	

案件ごとに見積を作成しますので、お気軽にお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

〒892-0824 鹿児島市大黒町 4-1-2F
TEL : 099-227-5173 FAX : 099-227-2767
Email: info@ists.jp



通訳・国際ビジネス支援サービスの御案内【Satsuma Craftworks】

ドイツ語・英語の通訳をはじめ、営業・マーケティング支援等、とくにヨーロッパとのビジネスをサポートいたします。簡単な調査から出張や視察のコーディネート、営業のポイントメント等、お気軽にご相談ください。

貿易協会会員様向けの国内通訳料金は下記の通りです。

商談・視察・研修等の通訳 貿易協会価格（令和6年度）		
	英語	ドイツ語
1日料金（8H）	52,000円（税込）	55,000円（税込）
半日料金（4H）	33,000円（税込）	35,000円（税込）

【お問い合わせ】

Satsuma Craftworks
〒891-0114 鹿児島市小松原
Tel : 050-5539-7202
E-mail : contact@satsuma-cws.com
Web : <https://satsuma-cws.com/interpretation/>

メーリングリストの御案内

当協会では、貿易情報を迅速に提供・交換するためインターネットを使ったメーリングリスト（以下「ML」という）を開設しています。

商談会や見本市、セミナー・イベントなどの最新情報等を随時発信しています。

参加登録は随時受け付けておりますので、関心のある方は事務局(info@kibc-jp.com)までご連絡ください。

（ML とは、リストに参加している全員に同一のメールを同時に一斉配信するインターネットの機能です）

※ご質問等に関しては、当協会アドレス(info@kibc-jp.com)へお願いいたします。

ML に直接返信されるとリスト内メンバー全員に流れてしまいます。

鹿児島県貿易協会公式Instagramの御案内

公益社団法人鹿児島県貿易協会の公式 Instagram を開設しました。

当協会が実施する事業やイベントなど、貿易に関する情報を随時発信していきますので、ぜひフォローと「いいね！」をお願いします！

★公益社団法人鹿児島県貿易協会公式 Instagram **アカウント名 : trading.kboueki**

URL: <https://www.instagram.com/trading.kboueki/>

★公益社団法人鹿児島県貿易協会公式 Instagram QR コード★



鹿児島県貿易協会新規入会会員の募集

当協会では、新規に入会していただける会員企業を広く募集しております。

鹿児島県下に事務所や事業所を有し、海外との取引に興味のある企業をご存知でしたら、ぜひ事務局までご紹介くださいますようお願いいたします。

貿易協会概要

鹿児島県下に事業所を持つ貿易業及びこれに関連する事業を営む者並びに関係機関・団体等で構成される公益社団法人です。

会員の相互の連携により、海外ビジネス情報の交換、海外市場の調査、海外取引の斡旋、研究発表などを実施し、海外貿易の促進・振興を図り、鹿児島の経済発展に寄与することを目的に活動しています。

【設立】：1957年2月22日

【会員数】：124社（令和7年8月1日現在）

【役員】：会長 塩田 康一

理事 20名

監事 1名

貿易協会の業務

- ① 海外市場開拓の支援
見本市参加、商談会開催
- ② 貿易相談
取引業務や苦情処理など貿易を巡る諸相談
- ③ 貿易講演会等の開催
海外市場等に関するセミナーや講演会
- ④ 貿易刊行物の発行・頒布
貿易ニュース鹿児島、ACCESS
- ⑤ インターネットを活用した情報発信
ホームページ、メーリングリスト
- ⑥ かごしま海外ビジネス支援センターの運営
県内企業・個人に対する海外ビジネスの支援

入会金と会費

【入会金】個人 3,000 円（2 種会員）

団体 3,000 円（1 種・2 種・3 種会員共通）

【会費】1 種会員費・・・団体 30,000 円（年額）

2 種会員費・・・個人 24,000 円（年額）

団体 24,000 円（年額）

3 種会員費・・・団体 50,000 円（1 口あたり/年額）

※1 種会員とは外国航路船舶会社、通関業者、金融機関、役員所属企業など。

※3 種会員とは地方公共団体、商工会議所、商工会の団体。